

こもりびと支援講演会

こもりびとと地域社会

コロナ禍の「8050問題」 はちまるごーまる

「8050(はちまるごーまる)問題」とは主に80歳代の親と50歳代のひきこもりの子どもが抱える、さまざまな問題のことです。コロナ禍で生活様式が変わる中で「こもりびと※」の何が課題になっているのか、地域で何ができるのかを考えます。



©平岩亮

講師 フリージャーナリスト **池上正樹氏**

20年以上「ひきこもり」関係の取材を継続。KHJ(全国ひきこもり家族会連合会)広報担当理事。NHKドラマ「こもりびと」など、テレビやラジオの出演多数。主な著書に「ルポ「8050問題」高齡親子“ひきこもり死”の現場から」(河出新書)ほか。



※市では、いわゆる「ひきこもり」の人に寄り添いたいとの思いから、より温かみのある「こもりびと」という呼称を使っています。

定員 先着100人(当日受け付けもあり:20人(午後0時30分から受け付けし、定員になり次第終了))

申し込み 1月21日(金)までに、申し込み用紙に氏名、電話番号を記載し、ファクスで保健福祉センター健康福祉総務課へ。電話も可。

※申し込み用紙は同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。

☎保健福祉センター健康福祉総務課地域福祉係 ☎(260)5604 ☎(262)0999



積雪による転倒事故などに注意!

これからの季節、積雪による転倒事故など、けがの危険性が高くなります。事故を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- ❄️ 残雪や凍結路面を避け、滑りにくい靴でゆっくり歩きましょう(朝は特に注意)
- ❄️ 通勤・通学はいつもより時間の余裕を持って出掛けましょう
- ❄️ 降雪日や残雪時は、自転車やオートバイの利用を控えましょう
- ❄️ 切れた電線を見つけたら、東京電力カスタマーセンター☎0120(995)007に連絡をお願いします。



☎市役所危機管理課防災管理係 ☎(260)5777 ☎(261)4592